

なく二俣。ここから下の道跡まで続く  
踏跡に上がって、下降終了とする。

(記・5)

【タイム】 下降開始(11:30)→終了(12:  
:25)

### 井戸沢

1984年8月4日

草薮沢を井戸沢出合まで、クモの巣  
に悩まされながら歩く。水も少なく、  
河原歩きである。所々踏跡がみられた。

9:35井戸沢出合。ここらは伐採・植  
林されている。

井戸沢に入ると、すぐに兩岸が狭ま  
り、最初の滝3m。何なく越えて先に  
進む。

左側から滝となって支沢が合流した  
あとは、5m前後の滝の連続となる。

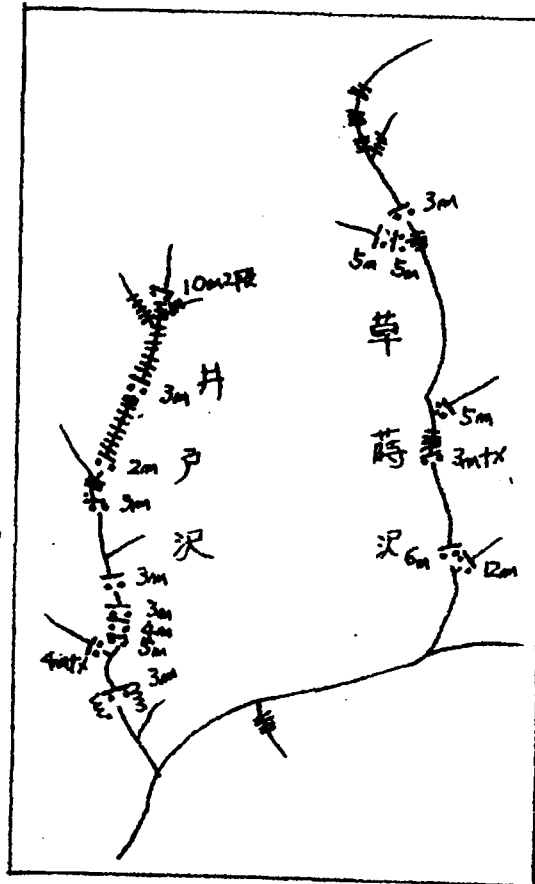
ここを過ぎると、伐採によってヤブがひどくなった中を苦勞して進まねばならな  
くなる。その伐採地も、ナメが出てきたあたりで終わりとなった。

小滝をまじえたナメを進ると、水も少なくなってくる。最後の華をかざるように  
10m二段の滝があった。

水もなくなり、尾根に向けて上がってゆくと、カモシカに出合った。しばらく一  
緒に尾根に向けて上がる。尾根にて現在地を確認して、草薮沢の下降点へと歩く。

(記・

【タイム】 井戸沢出合(9:35)→終了(11:50)



### 馬道沢

1984年8月4日

林道ぞいの何もない沢とわかっていても、地域研究を進めてくるうちに入らざる  
をえなくなってくる沢のひとつがこの馬道沢である。水はかすかに流れている程度。